

新紙幣

ウラ

オモテ

# 渋沢栄一と 一万円札物語

オフィス303 編



ほるぷ出版

# 渋沢栄一と一万円札物語

## 渋沢栄一ってどんな人？

- 読書に夢中だった栄一少年 ..... 6
- 衝撃のヨーロッパ体験 ..... 8
- 日本を発展させる組織を！ ..... 10
- 最期まで世のため、人のため ..... 12

## 福沢諭吉ってどんな人？

- 悪童から読書好きな少年へ ..... 16
- 学問を広げた海外の文化 ..... 18
- 教育の大切さを広める ..... 20

## 聖徳太子ってどんな人？

- 幼少期から仏教を学ぶ ..... 24
- 摂政として政治に関わる ..... 26
- 理想の国家を目指す ..... 28

## 紫式部ってどんな人？

## 高橋是清ってどんな人？

## 板垣退助ってどんな人？

## お札の偽造防止技術の変化

## さくいん

## 岩倉具視ってどんな人？

## 二宮尊徳ってどんな人？

## そのほかのお札

### この本の説明

**新一万円札のヒミツ**

**渋沢栄一ってどんな人？**

2024年、白米のお札が新しくなります。新しい一万円札の母体は、資本主義の父といわれた美濃富川の栄一です。新しいお札のデザインの特徴や、なぜ栄一が、何故に選ばれたのか、その一歩を覗いてみましょう。

**0 偽造防止のすごいワザ！**

- インクの色は14色
- 3Dホログラム
- お札の紙のつくり方
- 偽造防止のヒミツ

**1 オモテ**

高万円 日本銀行 10000

**2 だれでも使いやすい表示**

アラビア数字

**3 日本を代表する駅**

東京駅

**4 クラ**

**お札のことがわかる！**

ここで取り上げられているお札について、どうしてこの人物がとりあげられたか、どうしてこの図柄なのか、偽造を防ぐために、どんな技が使われているのか、お札のヒミツにせまります！

**伝記 渋沢栄一物語**

**読書に夢中だった栄一少年**

幼少期から読書に夢中だった栄一少年は、悪童から読書好きな少年へと成長していき、13歳で読者の才能を発見する。

**13歳で読者の才能を発見する**

栄一は13歳で父の塾生仲間から読者の才能を発見する。父の塾生仲間から読者の才能を発見する。父の塾生仲間から読者の才能を発見する。

**本に夢中になり過ぎて病に落ちることも**

栄一は読書に夢中になり過ぎて病に落ちることも。父の塾生仲間から読者の才能を発見する。

**洗沢栄一的一生**

年	出来事
1822	美濃富川に生まれる。
1835	13歳で読者の才能を発見する。
1842	19歳で父の塾生仲間から読者の才能を発見する。
1848	25歳で父の塾生仲間から読者の才能を発見する。
1854	31歳で父の塾生仲間から読者の才能を発見する。
1860	37歳で父の塾生仲間から読者の才能を発見する。
1867	44歳で父の塾生仲間から読者の才能を発見する。
1873	50歳で父の塾生仲間から読者の才能を発見する。
1879	56歳で父の塾生仲間から読者の才能を発見する。
1885	62歳で父の塾生仲間から読者の才能を発見する。
1891	68歳で父の塾生仲間から読者の才能を発見する。
1897	74歳で父の塾生仲間から読者の才能を発見する。
1903	80歳で父の塾生仲間から読者の才能を発見する。
1909	86歳で父の塾生仲間から読者の才能を発見する。
1915	92歳で父の塾生仲間から読者の才能を発見する。
1921	98歳で父の塾生仲間から読者の才能を発見する。
1927	104歳で父の塾生仲間から読者の才能を発見する。
1933	110歳で父の塾生仲間から読者の才能を発見する。
1939	116歳で父の塾生仲間から読者の才能を発見する。
1945	122歳で父の塾生仲間から読者の才能を発見する。
1951	128歳で父の塾生仲間から読者の才能を発見する。
1957	134歳で父の塾生仲間から読者の才能を発見する。
1963	140歳で父の塾生仲間から読者の才能を発見する。
1969	146歳で父の塾生仲間から読者の才能を発見する。
1975	152歳で父の塾生仲間から読者の才能を発見する。
1981	158歳で父の塾生仲間から読者の才能を発見する。
1987	164歳で父の塾生仲間から読者の才能を発見する。
1993	170歳で父の塾生仲間から読者の才能を発見する。
1999	176歳で父の塾生仲間から読者の才能を発見する。
2005	182歳で父の塾生仲間から読者の才能を発見する。
2011	188歳で父の塾生仲間から読者の才能を発見する。
2017	194歳で父の塾生仲間から読者の才能を発見する。
2023	200歳で父の塾生仲間から読者の才能を発見する。

**お札の人物の伝記がわかる！**

お札に描かれた人物がどんな人生を歩んで、何をなすとげ、どんな苦勞や失敗をしたのか、小さなころから振り返ります。年表もついています。

**伝記 渋沢栄一物語**

**最期まで世のため、人のため**

多くの善行を後世に遺し、世のため、人のため。父の塾生仲間から読者の才能を発見する。

**69歳で多くの役員を辞め、77歳で会社経営から引退**

69歳で多くの役員を辞め、77歳で会社経営から引退。父の塾生仲間から読者の才能を発見する。

**死の直前まで力を尽くし、後継者が成立**

死の直前まで力を尽くし、後継者が成立。父の塾生仲間から読者の才能を発見する。

**渋沢栄一のお札が発表された2019年の一万円の価値**

東京駅から三河安城駅まで9900円

**このお札が発行されたときの、お金の価値がわかる！**

このお札が発行されたとき、お金の価値は今とくらべてどう違うのか、身近なものを例にあげてくらべてみました。

**オモテ** お札にのっている人の活躍したエピソードです。

**クラ** お札にのっている人の意外な一面や、失敗談です。

# 新一万円札のヒミツ

# 渋沢栄一ってどんな人？

2024年、日本のお札が新しくなります。新しい一万円札の肖像は、資本主義の父といわれた実業家の渋沢栄一です。新しいお札のデザインの特徴や、なぜ栄一が、肖像に選ばれたのか、その一生を見ていきましょう。

## オモテ



それまでのお札と比べて漢字の表記が小さくなり、代わりに数字が大きくなった。

日本銀行券の表示 (日本銀行が発券したことを示す)

## ②だれでも使いやすい表示

### アラビア数字

目が不自由な人やお年寄り、外国からの旅行者にもわかりやすくするため、「だれに対してもわかりやすい」ユニバーサルデザインを採用。表面と裏面にアラビア数字で「10000」と大きく、手でさわってわかる深凹版印刷という方法で印刷されている。

日本銀行総裁の印章は、紫外線をあてるとオレンジ色に光るインキで印刷されている。

お札をかたむけると、図柄が変わって見える。

光にすかすと栄一の肖像が見える「すき入れ」(すかし)。

お札を特定するための「記番号」。アルファベットと数字を組み合わせて、同じものがないようにつくる。今までは最高9けただったが、新しいお札では10けたになる。

## ①偽造防止のすごいワザ！

### 3D ホログラム

かたむけると絵や色が変わって見えるホログラムは、お札の偽造を防ぐために2004年から導入された。新しいお札には、見る角度によって肖像の顔の向きが変わる3Dホログラムが使われる。この技術がお札に採用されるのは世界初。

## ③新しい一万円札の顔

### お札の顔のつくり方

お札の肖像は、写真などを元にして、お札の製造を行っている国立印刷局の工芸官の手で彫刻されている。

### 肖像・渋沢栄一

1867年、明治維新のころに海外に渡って資本主義について学び、株式会社や銀行の仕組みを日本に広めた。日本の経済の基本をつくったことから「日本資本主義の父」と呼ばれる。引退後も外国との外交にはげむなど日本の未来のために働いた。500の企業の創立と、600の社会事業に関わったとされる実業家だった。その功績から一万円札の顔に選ばれた。

## ④日本を代表する駅

### 東京駅丸の内駅舎

1914年、開業した日本の玄関口と呼ばれる駅。国の重要文化財で、世界的な観光名所となっている。赤レンガと白い大理石を組み合わせた建物はとてもじょうぶで、関東大震災のときも、くずれることなくのりこえた。渋沢栄一も71社もの鉄道事業にかかわっていた。

日本銀行のローマ字表示。



## ウラ

1885年以降、日本銀行が発行したお札はすべて、円は「YEN」と表示。

これが実際の大きさ

# 読書に夢中だった栄一少年

裕福な農家に生まれた渋沢栄一は、5歳から学問や読書を始めます。初めは難しかった読書も、興味をもった本を読むうちに、だんだんおもしろくなり、歩きながら本を読むほどでした。さらに、13歳でひとりりで染物の材料を買い付けに行くようになり、商売を学びます。

オモテ

## 農業を営む村に生まれる

栄一は1840年に、武蔵国榛沢郡血洗島村(現在の埼玉県深谷市)に生まれました。村人のほとんどは渋沢家の親族で、農業を営んでいました。渋沢栄一は13人兄妹でしたが、そのうちの10人は幼いうちに亡くなり、男の子は栄一ひとりだけ。栄一はあとつぎとしてとても大切に育てられ、大きな病気をすることもなく、元気いっばいに成長していきます。

埼玉県深谷市にある、旧渋沢邸「中の家」。



オモテ

## 5歳で中国の学習書を学び始め、11歳ごろ読書に自覚める

栄一の父の市郎右衛門は商売が上手で、勉強をよくする人でした。市郎右衛門は栄一が5歳になると中国の本を暗唱させ、7歳ごろから栄一の従兄の尾高惇忠のもとに勉強に行かせました。11歳ごろから、惇忠は栄一に決まった本を暗唱させるようなことはせず、栄一が興味をもった本を好きなだけ読ませました。栄一は、たくさん本を読むことで、自然と読書力がついて、色々なことが理解できるようになっていきました。

ウラ

## 本に夢中になり過ぎて溝に落ちることも

栄一は『三国志』や『里見八犬伝』などの英雄が活躍する物語が大好きで時間を忘れて読みふけりました。栄一があまりに本に夢中なので、父はあきれて「読み書きは大事だが、のめりこみすぎるんじゃない」と忠告をしたほどです。栄一は行き帰りの道を本を読みながら歩くので、ある年のお正月には晴れ着を着たまま本を読み歩いていて、溝に落ち、服を汚して、母にもものすごくしかられたりもしたそうです。



オモテ

## 13歳で商売人の才能が芽生える

栄一は13歳になると父の市郎右衛門から「家の仕事を手伝いなさい」と言われました。栄一の家は農業のほかに、カイコから繭を取る養蚕や、染物に使う藍の商売を営んでいました。藍の商売は、染料の材料となる藍の葉を手に入れることから始まります。栄一の家では、ほかの村からも藍の葉を買い付け、それらを加工して染物屋に売っていました。

あるとき、市郎右衛門は買い付けを祖父の只右衛門と栄一にたのみ、信州の取引先まわりへと出かけていきました。栄一は年老いた祖父にこわって、ひとりで藍の葉の買い付けに出かけました。村人たちはまだ子どもの栄一が正確な目利きをするのでとてもおどろきました。

農家の信頼を得た栄一は近所の村々をまわり、その年の藍の葉をほとんど買い付けてしまいました。長旅からもどった市郎右衛門は、手ごろな値段でいい藍の葉をたくさん仕入れた栄一におどろき、大変ほめました。



年	できごと
1840	武蔵国榛沢郡血洗島村(現在の埼玉県深谷市)の農家に生まれる。
1845	父から中国の本を暗唱させられ、記憶力がきたえられる。
1846	このころ、従兄の尾高惇忠に学問を習い始める。
1853	ペリー来航。日本が開国へと動き始める。
	家の仕事にはげみ始める。藍の仕事で商売の才能を発揮する。
1858	従妹のちよ(尾高惇忠の妹)と結婚。
1861	儒学者・海保漁村の塾、剣術の千葉道場で勤王志士たちと知り合う。
1858	安政の大獄が起こる。
1863	倒幕のため、高崎城のつ取り、横浜の外国人居留地の焼きうちをくわだてるが、計画を中止。幕府から逃れるため、村を出て京都へ向かう。
1864	幕府からかけられた疑いを晴らすため、一橋慶喜の家臣となる。
1866	栄一は幕府に仕える。一橋慶喜が征夷大将軍に。
1867	慶喜の弟、徳川昭武の留学のお供としてフランスへ。パリ万博視察後、ヨーロッパ諸国をまわり、銀行の仕組みや株式制度について学ぶ。
	大政奉還、主政復古の大号令。
1868	帰国し、駿府(静岡)にいる慶喜のもとへ向かう。
1869	駿府紺屋町に日本初の合本組織(株式会社の先駆け)である商法会所を開く。民部省租税正を命ぜられ明治政府に仕える。
1872	国立銀行条例制定。
1873	政府との考え方のちがいにより大蔵省を辞める。その後、日本で最初の銀行、第一国立銀行を開業。総監役をつとめる。
	地租改正条例制定。
1875	商人のために商業を専門に教える学校として商法講習所(後の一橋大学)の管理を任される。
1876	養育院(現在の東京都健康長寿医療センター)事務長に就任。
1878	東京商法会議所の初代会頭に就任。
1880	佐野常民・大給恒などが創立した博愛社(現在の日本赤十字社)の社員となる。
1886	女性にも知識と教養が必要と、伊藤博文らと共に女子教育奨励会を創立。
1894	日清戦争勃発。
1909	つとめていた多くの企業・団体の役員を辞任。日米関係の改善のため、渡米実業団を結成し、アメリカへ。タフト大統領やトーマス・エジソンらと会見。
1913	北里柴三郎の申し立てを受け、日本結核予防協会を創立。
1914	第一次世界大戦勃発。
1916	実業界を完全に引退。
1923	関東大震災で被災するも、大震災善後会創立につくすなど、復興につとめる。
1925	1926年度ノーベル平和賞候補者に推薦される。
1926	日本放送協会が設立。顧問となる。この年から1929年まで、毎年11月11日の世界平和記念日に、ラジオ放送で平和へのうたえを行う。
1931	11月11日、自宅にて家族に見守られながら亡くなる。

# 衝撃のヨーロッパ体験

渋沢栄一は幕府をたおす計画を立てたため、江戸幕府から要注意人物として目をつけられます。逃げるようにして向かった京都で、後に江戸幕府最後の将軍になる一橋慶喜に仕えることになりました。その後、慶喜の弟、昭武のお供で訪れたヨーロッパの工業、商業の発展に衝撃を受けます。

オモテ

**要注意人物となるも、一橋慶喜に命を救われる**

21歳になった栄一は父にたのみこみ江戸に出ます。そこで知り合った勤王志士\*たちに影響を受け、群馬県にあった城をのっ取る計画を立てますが、親族の説得で計画を中止します。しかし栄一はすでに幕府に目をつけられていました。あわてて京都へのがれた栄一に幕府の追っ手が迫ります。困り果てていたところ、一橋慶喜の側近から「家臣になれば疑いも晴れる」と誘いをかけ、栄一は命拾いをしました。

\*天皇に忠誠をちかひ、天皇中心の政治が正しいと信じる武士や浪人のこと。  
\*\*江戸幕府第15代征夷大将軍、徳川慶喜。一橋徳川家第9代当主。

ウラ

**フランス行きが決まるも、思わぬ落とし穴が**

1867年、慶喜の弟・徳川昭武のパリ万博参列・フランス留学が決まり、栄一はお供として選ばれました。栄一は横浜の古着屋で燕尾服(イブニングコート)を買い、自信満々で船旅に出ます。ところが、途中立ち寄った香港で栄一だけぞんざいなあつかいを受けます。栄一が抗議すると、ボーイから「おつきのコック(料理人)かと思っただです」との返事が返ってきました。当時ヨーロッパにはコックは燕尾服を着る習慣があったので、栄一はコックにまちがわれたのでした。



写真は1867年に出発した徳川昭武一行の集合写真。順応性のあった渋沢栄一はこの後、ヨーロッパではマゲを結っている人はひとりもないといっ、マゲを切り、洋装になった。



オモテ

**フランスで衝撃を受ける**

フランスに行った栄一はパリ万博で、蒸気機関やエレベーターなど世界各国の最新の発明品に目を見張りました。日常生活においても、病院や鉄道、ガスや水道といった設備が整っていることにおどろかされました。

なかでも銀行の存在と株式制度に強い衝撃を受けました。そして、栄一は金融の仕組みや制度について多くを学ぶことができました。

さらに栄一は、商人と軍人が対等の立場で会話をしていることにもおどろきました。それは商人が武士に意見するようなもので、身分格差が激しかった当時の日本では、考えられないことでした。「軍人だろうと、市民だろうと、政治に参加してもよいのだ！」。

栄一は、これからの日本の発展には、身分にかかわらず、自由な発言が許され、実力のある人はきちんと評価されることが必要だと強く思いました。

オモテ

**先進的な商法会所を設立**

栄一がフランスに渡ってから1年半が過ぎたころ、日本では、慶喜が、幕府の将軍の地位を捨て、駿府藩(後の静岡藩)にいました。

慶喜がいる駿府藩で事業を成功させたいと考えた栄一は、帰国後の1869年、駿府藩と協力して、商法会所を設立します。商法会所は銀行と商社の特徴をあわせもった金融会社で、株式制度や、フランスで学んだ経済の知識を取り入れてつくられました。

商法会所の運営が軌道に乗ると、栄一の目覚ましい活躍は、新しく成立した明治政府の耳にも入りました。政府は、経済の知識があり、新しいことを積極的に取り入れて実践する栄一を放ってはおきません。国のあり方が大きく変化するなかで、栄一の力が必要とされていたのでした。

## 渋沢栄一の商法会所(株式会社)

藩のお金と民間から集めたお金を合わせて運営する。 → 資金を出した人には利益を分け合い配当金を出す。



- 産業を発展させるための資金の貸しつけをする。
- 肥料や米をまとめて買いつける。
- 静岡藩の農産物を買入れ東京などで販売する。